

令和6年度 第2回
地域密着型通所介護運営推進会議 資料



地域ハロウィンイベント（あおやまミニオンズ）

株式会社あいむ介護サービス
デイサービスあおやま

地域密着型通所介護運営推進会議について

1 目的

「運営推進会議」とは、厚生労働省令に基づき、利用者の家族や地域住民の代表者等に、提供しているサービス内容（活動状況）を明らかにすることでサービスの質を確保し、地域との連携を図ることを目的としています。

2 構成メンバー

- ・利用者、利用者家族
- ・地域住民の代表者
- ・市職員又は地域包括支援センター職員
- ・地域密着型通所介護について知見を有する者
- ・デイサービス関係職員

3 頻度

概ね6か月に1回以上（年2回以上）

4 資料の内容

デイサービスの活動状況を報告させていただきますで、助言や要望等のご意見を願いたします。

デイサービスの概要

1 概要

令和元年6月1日開設。定員17名。日曜・年末年始(12/29～1/3)以外営業。

『住み慣れたご自宅で、充実した生活が送れるように』をモットーに、“デイサービスあおやま”では戸建て住宅を改修し、車椅子のご利用者にも対応しながら、よりご自宅に近い環境のもと、炊事、洗濯、掃除、入浴など日常生活には欠かせない活動(行動)を生活リハビリとして、個々に沿ったサービスを提供しています。また、集団活動としては、季節ごとの行事などを実施しています。

活動報告（令和6年9月～令和7年3月）

1 事業・活動内容

① 地域行事参加について

利用者、職員ともに楽しみにしている、恒例行事の地域主体のハロウィーンイベントに今年も参加させていただきました。今年は「ミニオンズ」の仮装にチャレンジしました。今年は北播磨県民局に申請し、ポップコーンを作り、来訪者に配りました。利用者もお菓子の袋詰めから喜んでお手伝いしてくださいます。



ハロウィーンイベント（子供たちに癒されます）

② トライやるウィーク（緑が丘中学校）の受入れについて

トライやるウィークの生徒さん（2名）の受入れをしました。利用者の皆さんにとっては、孫・ひ孫世代の生徒さんとの交流に大変喜ばれておられました。



正月しめ縄作り



調理補助（昼食作り）

③ 外出行事について

散歩がてらに「協同学苑」で開催していた「クリスマス飾り展」に行って来ました。その他にもイオンの「ミスタードーナツ」で茶話会を開催するなど、精力的に活動しています。



④ ボランティア行事について

今年も色々なボランティアさんにご協力頂きました。新しいボランティアさんも増えサービスの幅も広がっています。



紙芝居（昔懐かしい）



津軽三味線（身体に響きます）



よさこい（当たり前のように職員も参加です）



アカペラコーラス（美しいハーモニーにうっとり）



⑤ 季節行事・制作レクについて

利用者に季節を感じていただけるように、様々な季節行事を開催しました。
節分行事の豆まきでは鬼の金棒を奪い取り、一所懸命に鬼退治をされていました。笑いの絶えない行事になりました。



季節の壁面作り（出来る範囲のお手伝い）



クリスマス会（職員による手品・サンタさんからのプレゼント）



御坂神社で初詣



狂喜乱舞！豆まき

2 職員研修及び各種委員会について

職員研修年間計画（別紙参照）に基づき、感染症予防や身体拘束、虐待防止などの職員研修を厚生労働省等が出している動画を活用し、行っています。また、各種委員会（別紙参照）も定期的に行っています。

今年度はBCP 訓練も実施しました。社内（4事業所合同）伝達訓練（11/29）や三木市消防本部予防課立ち合いの元、地震想定訓練（3/6）を行いました。当日は、実際さながらにテレビより「緊急地震速報」を流し、傷病者を想定して搬送訓練・通報伝達訓練も行いました。

なお、昨年度からの課題であった備蓄品についても最小限ではありますが、保存水やカセットコンロ、簡易トイレ等を配備しました。



※業務継続計画とは BCP : Business Continuity Plan

大地震等の自然災害、感染症のまん延、テロ等の事件、大事故、サプライチェーン（供給網）の途絶、突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い時間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画のことを業務継続計画（BCP）と呼ぶ。

（厚生労働省資料より抜粋）

3 利用数など

実人員(令和7年3月現在)

							(単位:人)
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
2	5	8	12	4	2	1	34

延べ利用者数、営業日数、1日当たりの平均人数

												(単位:人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	計
要支援1	14	13	7	9	9	8	9	7	8	7	5	96
要支援2	18	18	15	17	17	18	17	17	14	29	30	210
要介護1	74	99	110	108	116	100	107	105	88	67	67	1041
要介護2	88	77	62	47	45	58	68	57	72	68	74	716
要介護3	29	61	46	70	81	72	58	68	59	39	35	618
要介護4	18	9	6	6	15	18	17	24	22	20	21	176
要介護5	14	13	12	14	15	11	10	12	8	2	0	111
計	255	290	258	271	298	285	286	290	271	232	232	2968
営業日数	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	24	283
1日平均	9.8	10.7	10.3	10.0	11.0	11.4	10.6	11.2	10.8	9.7	9.7	10.5

※昨年度、年間平均利用人数：11.1人

今後の取り組み（令和7年4月～令和7年9月）

- 1 指定更新申請 電子申請届出システムの活用 GビズID取得 (R7.5)
- 2 地域のふれあいサロンへの参加 介護教室「じぶんノートの書き方」
三木市環境課生活安全課とコラボ予定 (R7.7)
(昨年度は「意外と知らないお口の機能」いかい歯科医院とコラボを実施。)

運営推進会議記録

事業所名 住所 サービス種類	名称：デイサービスあおやま 住所：三木市志染町青山5丁目9-5 サービス種類：地域密着型通所介護
開催日時	令和7年3月14日（金） 14：30～ 15：05
開催場所	デイサービスあおやま
出席者内訳	利用者・家族：高橋様（利用者代表） ：寺田様（家族代表） 地域代表：細見様（青山5・6丁目老人クラブ会長） 市・包括職員 氏名：上野様（三木市介護保険課） 見識者・その他 氏名：芝田様（三木市社会福祉協議会） 事業者 氏名：石田（管理者）
議題・課題	● 活動報告 ● 今後の取り組み
報告事項	● 資料にて説明（別紙参照）。
評価、要望、意見及び助言等	● 高橋様（利用者代表） いつも良くしてもらっている。 外に出たい。もっと外出行事をして欲しい。 →冬の間は外気温が低いので外出行事を控えている。これから暖かくなるので、外出行事を増やして行きます。 ● 寺田様（家族代表） いつも助けてもらっている。困った時にはまず、最初にデイサービスに連絡してしまう。この前も福祉有償運送サービスの予約が出来ておらず助けもらった。 →お困りごとあれば連絡してもらえれば、今後も出来る範囲で対応します。 ● 細見様（青山5・6丁目老人クラブ会長） 施設の前を歩いていると職員のうるさいぐらいの元気

	な声が聞こえる。ワイワイしている事が伝わってくる。壁面（施設北側出窓）が四季折々の作品があって良い。しかし、たまに2か月ぐらい変わらない時がある。 →壁面作品は1ヶ月～1ヶ月半ペースで利用者に協力してもらい作成して頂いている。利用者も楽しんで参加されているので、今後も続けていきます。 ● 上野様（介護保険課） 資料見ると満足いくサービスを実施されている事がわかる。 事故報告書の提出が無いが、ヒヤリハット報告書等は施設内でどうなっているのか？ →事故報告書提出に至る事案は起こっていないのが現状。また、ヒヤリハット報告書については紙ベースでは無く、状態変化、連絡事項等、何かあればSNS（施設内グループline）を活用している（情報の取り扱いには規則あり。）。紙ベースで提出の必要あれば文面（対象者・日付・内容・報告先等）をコピーしてプリントアウト可能です。 ● 芝田様（三木市社会福祉協議会） 資料を見ると活発的に活動されているのが、伝わってくる。 三木すみれ園がオープンしているがしっかりと住み分け（規模・サービス内容）が出来ているのでこのままで良いと思う。 他は特にいうことは無い。
その他	● 次回開催は令和7年9月頃を予定している。